小須戸公民館報

発行所 小須戸町 中央公民館
発行人 成田常信
発行日 毎月15日
印刷所 前昭栄堂印刷所

子育て私見

新津南高等学校長
惣山益雄

最近の高校生をなりばかり大きく体力が伴わない、いわゆる「もやしっ子」と考える向きが少なくありませんが、統計の上から見る限り、それは誤りであり、体位・体力ともに向上しています。

しかし、一方何となく「ひよわ」な印象を受けるのもまぎれもない事実です。風邪ぐらいで簡単に休む生徒、やたらに保健室へ通う生徒、つらいと言ってすぐクラブをやめる生徒など、「もやしっ子」的イメージが強められこそすれ、弱められることはありません。

私はその原因として精神力の問題が潜んでいるように思います。今の若者は、幼い頃から豊かさの中で過保護に育てられてきて、つらいことに対する我慢強さに欠け、頑張りに乏しい。逞しい精神力を鍛える機会が少なかったからでしょう。健康調査などでも、何となく体の疲れや不調を訴える生徒が多いのもそうした精神力を欠くことからきているように思われます。

それでは、そうした精神力＝根性・我慢強さをつけさせるにはどうしたらよいでしょうか。日本の伝統的な育児で最も大切とされたことは、食べさせすぎないことと厚着をさせないことの二つでした。「三分の飢えと寒」「七分の食」「三分の寒」などということわざが言われ、養育の基本として守られていました。もちろん、その背景にはその時代の生活の貧しさがあり、それに耐えることが当然なこととして求められたという事情もありましたが、とにかく子どもはおのずから鍛えられたのです。

これに反して現代は飽食暖衣の時代で、そのような場を求めることは一般的には難しいように思われますが、しかし工夫によってはそうした鍛練の場を意識的に設定することができるのではないでしょうか。例えば、ハングリー体験を家族全員で味わってみる―月に一度は朝食抜き、夜は漬物とお茶漬けだけで済ませたり、色あせたお下がりの服を着せたりすることも一つの方法でしょう。こうして生み出した余剰を飢えに苦しむ国の人々の救済にあてれば思いやりや感謝の心を育てることにもなりましょう。

ところで、この場合主導権をとるのはやはり父親です。現代の家庭では、子ども中心になりがちで父親の存在が薄いのですが、子どもの成長にとって父親の役割が大きいことを再認識する必要があります。戦前の日本では、家庭でこまごました世話をするのは母親でしたが、子育ての責任者、子どもを教え仕込み、一人前の人間に育て上げるのは父親の役目でした。父親は言わば仕事と社会的規範の模範を示していたのです。

これに対して、現代は子どもが父親の働く姿に直接接することが難しくなっていますが、仕事の意味や働くことの大切さ、厳しさ、そして自立するということはどういうことか、などを言葉だけでなく、自分の全生活をもって教えてやることができるのではないでしょうか。そしてそのことが子どもに目標を与え、生活に緊張感を持たせ、日常の学習の姿勢にも「面白いからやろうというのではなく、大事だから頑張り抜くという厳しい意欲」をおのずから育てることになるのだと思います。

世の中全体が甘えの風潮につかっているなかで、家庭の中におけるいい意味での父親の復権が改めて考えられるべき時きているように思われます。

〝秋の雰囲気を描きたかったのですが、気持と筆とは裏腹で……〟
―― 水彩画クラブ　文京町2　高山冨美 ―

ふるさと散歩 (1)

十三年間、勤労奉仕

斉藤一策さん

天ヶ沢第二、斉藤一策さん（六九歳）は、昭和四十九年から十三年矢代田小学校の花壇や花木の手入れなどを無料奉仕で続けてこられた。

「そうかの、十三年にもなったかの、年を取るわけらわい。暇見つけてやったったすけれのー」と謙遜されるが、なかなか出来る事ではない。作業は草取りから、花の植えつけ、手入れ、冬囲いの手伝いなど多種多様。昔は子供達の理科実験用にジャガイモ、ヘチマ、稲なども学校で作っていたのだそうだ。何が一番大変ですかと聞くと

「矢代田の坂井成男宅から推肥をもらうんだが、その運搬がの年取ったすけれの」

楽しみはの問いには

「子供達がきれいだねと言ってくれると、ほんにうれしいし、これからの励みになる」と言われる。子供達の話題になると温厚な顔がもっとにこやかになる。「これからは春夏秋、いつでも花が咲き、花と緑の小須戸町にふさわしい庭にしたい」と語られる姿が印象的であった。七十歳近いとは思えない斉藤一策さん。これからも元気でがんばって下さい。

※この欄では町のちょっとした話題、人物を取り上げてご紹介したいと考えています。皆様からの情報をお待ちしています。

新津南高等学校 学校開放講座開催のお知らせ

新津南高校では昨年に引き続いて、次のような日程で学校開放講座を開催することになりました。内容も幅広く設定しました。どなたでもお気軽に参加して頂きたいと思います。

受講を希望される方は、ハガキに住所・氏名・性別・年令・職業・電話番号を明記して、新津南高校または、小須戸町中央公民館までお申し込み下さい。（電話でも結構です）募集人数は五十人。申し込み期限は五月三十日（土）までです。

多数の皆様の参加をお待ちしています。

新津南高校　小須戸町大字矢代田西山三二〇〇の一
（電話　三八―二九一二番）
小須戸町中央公民館　小須戸町大字小須戸一一七番地
（電話　三八―二二三四番）

●講座実施予定表

回	実施予定日	内容・担当	時間・会場
1	6月27日(土)	子育て再発見 惣山益雄	午後1:30～3:30 小須戸町中央公民館
2	7月10日(金)	平家物語と平家琵琶 小林均	午後7:00～9:00 〃
3	7月24日(金)	身近かな深層心理 加藤久孝	〃 〃
4	8月2日(日)	近郷の文化財・史跡めぐり 木村宗文	午前9:00～午後5:00 巡検
5	8月28日(金)	郷土玩具の世界 塩田安成	午後7:00～9:00 小須戸町中央公民館
6	9月11日(金)	床の間と掛軸 小林均	〃 〃
7	10月4日(日)	山菜と薬草を求めて 和泉修治	午前9:00～午後5:00 野外
8	10月16日(金)	水害と治水 木村宗文	午後7:00～9:00 小須戸町中央公民館
9	10月24日(土)	暮しの中の化学 渡辺昌吾	午後1:30～3:30 小須戸町中央公民館

（若干の変更があるかも知れません）

昭和62年度 社会教育各種委員の紹介

昭和六十二年度の社会教育活動に重要な役割を果たして頂く各種委員をご紹介いたします。

◆社会教育委員
惣山益雄（新津南高）長井昭三（小須戸中）関根勝哉（小須戸小）板井悦（新栄町二）萱森朝夫（本町五）細井実（若葉町三）木村敬三郎（水田）吉田吉平（新町二）岡謙吾（若葉町一）保科裕治（矢代田九）

◆公民館運営審議委員
河内与已次（文京町一）長井武雄（矢代田八）藤田潤一（矢代田小）惣山益雄（新津南高）板井悦（新栄町二）佐藤太加志（うでこき二）細井実（若葉町三）風間源一郎（本町一）穴沢武雄（矢代田一）平間甚一（天ヶ沢二）小林博二（矢代田十一）中野囡太郎（本町三）長井利夫（中央町二）小林省衛（矢代田十）近藤一男（中央町五）吉田行一（横川浜）村山睦（新町一）坂井ムツ（矢代田一）

◆体育指導委員
大貫泰弘（新保二）新井田信夫（矢代田一）武田力弥（小向）広橋修（文京町二）夏川勉（新栄町四）堀川千晶（矢代田五）川瀬素子（文京町二）内山美智子（中央町三）五十田博（中央町四）

◆体育指導委員
この度、体育指導員として教育委員会に勤める事になりました、何分いたらない点もあろうかと思いますが、精一杯がんばりますので、よろしくお願いします。

田中睦夫（新栄町三）

◆公民館報編集委員
池田忠夫（横川浜）長井武雄（矢代田八）板羽茂生（小須戸中）丸宝マリ子（矢代田　）渡辺怜子（竜玄）青木富士雄（大川前　）

小須戸町16ミリ愛好会主催「名画鑑賞会」

日本映画の名作　**駅（STATION）上映**

主演　高倉　健、倍償千恵子、烏丸せつ子、武田鉄矢　外
日時　5月24日（日）午前10時及び午後1時の2回上映
会場　中央公民館3階ホール
入場　無料
おさそい合わせの上、ご来場下さい。

さつきマラソン　6月14日(日)　9時30分より　参加自由　（3km・5km・10kmコース）　申し込み：中央公民館

小須戸町史を読む会 六十六名で開級

中央公民館主催の「小須戸町史を読む会」の開級式が、去る四月二十三日（木）午後七時三十分より、中央公民館三階ホールに於て開催されました。

小須戸町史を読む会には、町内外の方々より六十六名の参加申し込みがあり、当日は高校一年生の女の子から、七十歳以上の年配者の男女五十名以上の参加者で会場は大変にぎわいました。始めに成田中央公民館長のあいさつがあり、続いて講師の木村宗文先生（新津南高教諭）のあいさつを交じえたうえで講座内容に入り、前段は、小須戸町史の完成までのいきさつや苦労話をされ、その後、小須戸町の歴史を私達の子孫に語り継ぐうえでの町史の歴史的重要性。年毎に無くなりつつある歴史資料としての町史の持つ役割などを話されました。そして町史を一ページ一ページめくり読む度に出てくる様々な疑問点を調べる事、知る事がいかに楽しく有意義な事であるかを話され、問題点や疑問点を参加者の皆さんと共に学習して行きたいと今後の町史を読む会を進めて行く中での抱負を延べられました。講義の中でも講師と参加者からの活発な意見交換がなされ盛会の内に第一回目の「小須戸町史を読む会」を閉会しました。

私達のふる里、小須戸町の歴史を町史から学ぶことにより、これからの小須戸町のあるべき姿を考えて見て下さい。

「小須戸町史を読む会」受講希望者は中央公民館（電話三八―一二三四番）へどうぞ。

催し物ご案内

学級生 クラブ員 募集

レクダンスの会会員募集

楽しい音楽のリズムに乗ってのレクリエーションダンスの快よい汗を流した後のさわやかさは、まさに五月の風そのものです。多くの方にこの爽快感を味わって頂きたいと思います。そして健康と仲間づくりに貴女もぜひ、おいでになりませんか。お待ちしております。

日時 毎週金曜日、午前十時より十二時まで
会場 中央公民館三階ホール
申し込み 中央公民館へ

初心者俳句教室

初心者の皆様を対象とした俳句教室です。ぜひお気軽にご参加下さい。

期日 五月二十四日（日）より来年一月までの全六回、午後七時三十分より
会場 中央公民館二階会議室
内容 ○俳句のつくり方○俳句作品の添削と指導　等
主催 中央公民館
申し込み 中央公民館へどうぞ

幼児家庭教育学級

三歳から就学までの子供を持つ両親を対象とした学級です。子供の成長、発達を理解し、望ましい養育態度を身につけましょう。

期日 七月七日より毎月第二火曜日の午前九時三十分より（親子学習は午後一時三十分）
会場 小須戸町中央公民館
対象 三歳から就学までの子供を持つ両親
内容 ○子供と絵本○親子水遊び○手作りのおやつ○親子体操○たのしい工作・等
主催 中央公民館
申し込み 六月二日までに中央公民館・各保育園・幼稚園へ

町民初心者庭球大会

次により町民初心者庭球大会を行います。奮ってご参加下さい。

日時 六月七日（日）午前十時
会場 小須戸中学校テニスコート
対象 一般（男・女）中学生
主催 教育委員会・体育協会
主管 庭球協会
申し込み 五月二十日までに中央公民館へ申し込んで下さい。
※雨天の場合は中止します。

分館だより

新年度役員紹介

◆横水分館
分館長　木村敬三郎（水田）
主事　池田　忠夫（横川浜）

◆新保分館
分館長　川瀬　哲治（文京町二）
副分館長　高橋　邦夫（竜玄）
〃　渡辺　欣一（新保二）
主事　高山　栄七（新保二）

◆矢代田分館
分館長　本多　縦（矢代田三）
副分館長　星田金雄（矢代田三）
〃　平間　安雄（天ヶ沢二）
〃　松尾　健一（鎌　倉）
主事　小嶋　政孝（矢代田小）

◆小須戸分館
分館長　岡　謙吾（若葉町一）
副分館長　斉藤正之（うでこき二）
〃　森田　登（新栄町一）
主事　吉田林哉（本町一）

定期映写会

横水分館「親子映画教室」
期日　五月二十三日　夜七時
会場　水田集落センター

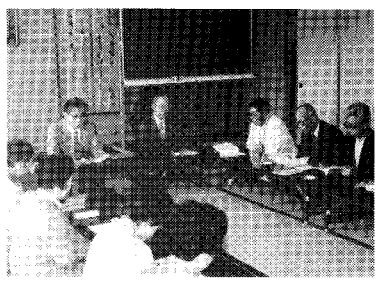
成人大学講座「古典講座」

新しい講師を迎えてスタート

昭和五十九年度より開講しました、中央公民館主催の「古典講座」の六十二年度第一回目が今年度より新たに講師にお迎えした小林均先生（新津南高教諭）のもと、中央公民館に於て、四月二十七日（月）午後一時三十分より開催されました。

当日は今回より新たに参加申し込みをされた四名の方々を含む十八名が出席されました。

講座内容はテキストの関係で「平家物語」を抜粋的に輪読しながら、講師先生の講話で進めていく運びとなりました。会員各位の意欲により、実りある講座をご期待いたします。



図書だより

一般図書

天の川の太陽　黒岩　重吾
井上成美　阿川　弘之
秘伝の声　池波正太郎
優駿　宮本　輝
哀しみの女　五木　寛之
女たちは古代へ翔ぶ　三枝　和子
カディスの赤い星　逢坂　剛
リラ冷えの街　渡辺　淳一
北の人名録　倉本　聰
他十一冊

図書寄贈御礼

第二回文化講演会で来町された事のある東京の近藤珠美先生より、本町の成人式が紹介されてあります「冠婚葬祭特選・学研」を寄贈頂きました。ありがとうございました。

胃がん検診ご案内

早期発見がキメ手です

検診料　五百円（当日持参）
持参するもの。受診票（問診票は必ず記入して下さい）。健康手帳をお持ちの方は当日持参して下さい。

注意事項　検診当日は、起きてから検査終了まで何も食べたり飲んだりしないで下さい（水やお茶、タバコもいけません）

申し込み　申し込み書を五月二十二日（金）までに役場町民生活課保健衛生係へ提出して下さい電話での申し込みも受けつけます。

日程表

期日	会場（受付時間）
5月26日(火)	保健センター（役場）午前8時～11時
	横川集落開発センター 午前8時～9時
5月27日(水)	保健センター（役場）午前8時～11時
	新保地域研修センター 午前8時～9時
5月28日(木)	ヤシロタ健康体力研究所 午前8時～11時
	矢代田小学校 午前8時～9時

柔剣道振興会だより

昇段おめでとう（剣道）

二段　井本雅義（天ヶ沢三）
初段　井本幸一（天ヶ沢三）

短歌

雪模様の夕べとなりぬ豌豆の畝に籾殻厚くばら撒く　我妻清作

ともしびの淡きにゆるる黒き目をはさみて呑みし細きイサザを　伊藤照渓

参道の神杉の香はいつ来ても身を緊むる思い弥彦の宮は　加藤茂

四月例会作品

小須戸町俳句同好会

白鳥の休む白線春の田に　太浪
杉の葉を掻けば湿りに春の草　のり生
佐渡海峡春光の波限りなし　野蒜
水仙の日毎真青に伸びにけり　久子
逸る犬曳るる人の目出帽　松山
敷石の乾いておりぬ蕗の花　素糸
落ちそうな春満月に出逢いけり　美根子
藪椿ほつほつ紅にじませて　露春
雪解けや胸より乾く平和像　秀穂
白梅の窓にあふるる光かな　良遊
ねもごろに仏事一切水温む　越楼
工事場に旗振る女春埃　冨沙子
手作りの彼岸団子が大きめに　香月
雪解けや猫の毛並のつやもてり　可津朋
啓蟄やつまづきがちにハウスの戸　虚秋
ほしかぶをむしろに並べ春うらら　ミナ

短歌クラブ作品

今月より短歌クラブ作品をご紹介いたします。

幼な児のことばむづかし老いわれは読みとれぬまま子守つづける　田沢徳市
夜勤せし母を慕いて泣く孫にわれもどかしく乳房さし出す　河内ヒロ
枯葦の陰にそれぞれ背を丸め糸魚釣り居る風なき沼に　佐藤新治郎
吾子の婚見ずして逝きし妹の墓にそを告ぐきさらぎの日に　佐久間ヒサ
群青の芒ありしはいつの日かいま立ち枯れて冬の日を受く　大森美恵子
みの虫は枝の高きにひとつだけ間遠く揺れて春はちかしも　長井利恵子
初孫の一日の子守ブランコに乗るも花見ることもおおらか　高野初江

川柳教室作品

題「飾り」

うわべだけ飾る言葉の腹を読む　清作
埒あかぬ人に限って身を飾り　源吾
飾らんで云われる前に出す地金　米二
武者人形飾れば何やら武家屋敷　常信
丹精をこめた力作展示会　良平
東京の虚飾の世界に憧れて　利和
武者人形飾り喜ぶ孫かこみ　キヨ
公約は投票までの修飾語　キン
ウインドの飾り早くも夏になる　タネ
飾らない顔があの娘の良いところ　春江
売り出しの飾りもいつかマンネリ化　キヨノ
着飾ったまんま乳吸う宮参り　幸世
永勤賞飾り気のない妻を褒め　信子
あの人が今日は飾らず美しい　志枝
飾りなど要らぬ女の性に生き　みな

小須戸婦人会講演会　6時14日(日)　午後1時30分　中央公民館3階ホール　「思いやりの心を持った子に育て」　黒岩秩子先生